

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 163【最新開催セミナーご案内！】

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【2月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□■————— 2021.1.21 Vol.163 ■□

昨日が大寒で日本全体ではこれから寒さの本番を迎えます。

そんな中、南国・沖縄からは「ひとあし、お咲きに」と「ヒカンザクラ（緋寒桜）」とも呼ばれる「寒緋桜（カンヒザクラ）」が咲きはじめたとの便りが届いています。

カンヒザクラはソメイヨシノよりも濃く、くっきりとしたピンク色の花びらで花は下向きに咲き、花弁は散らずに萼（がく）がついたまま落花します。

原産は台湾で、沖縄諸島や鹿児島県に分布しています。

温暖な沖縄ではソメイヨシノは開花しないため、沖縄で「桜」といえばカンヒザクラなのだとか。

一方、日本各地で花開くソメイヨシノの芽はまだキュッと閉じたまま。

花盛りに備えて休眠中です。

少女駆け緋寒桜の焰を引けり（焰＝ほ）
中村石秋（なかむら せきしゅう）（1923-）

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第163号をお届けいたします。

今回も2021年2月開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報2タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。

□ ■ ————— ■ □
i n d e x

□ ■ ————— ■ □

◇セミナー情報[2021年2月開催セミナー/19件]

2021年2月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-02.html>

◇おすすめセミナーPick Up

2月17日(水)開催

「CO2有効利用技術と開発・事業動向」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20210214.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報 (2タイトル)

<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇季語に遊ぶ

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202101.pdf>

□ ■ ————— ■ □

セミナー情報

[2021年2月開催セミナー/19件]

□ ■ ————— ■ □

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。

詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます

URLにてご案内致しております。

■2月9日(火)-----

【オンラインセミナー】

粒子分離の促進技術と分級操作

★ライブ配信のみ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210205.html>

■2月9日(火)-----

容量市場の初回オークションの結果と制度の見直しをめぐる議論の動向ならびに
エネルギー供給強靱化法から導かれる電力ビジネスと進化するDR・VPPとアグリゲー
ター

★個別（各テーマ）受講可能★

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210207.html>

■2月10日(水)-----

待ったなしの『脱炭素社会』、

企業・自治体はどう対処しなければならないか。

～早期対応がベスト戦略、「課題とチャンス」が潜むカーボンゼロの実際～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210204.html>

■2月10日(水)-----

バイオマスガス化発電・CHPシステムなどの開発動向・比較・導入の実際と
2000kW未満のバイオマス発電における事業化・事例（成功・失敗分析）

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210210.html>

■2月12日(金)-----

－電気器材を実際に触れて理解を深めるために

受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた－

現場で役立つ電気の基礎知識

～専門外の方のための～

<https://www.tic-co.com/seminar/20210201.html>

■ 2月15日(月)・16日(火)-----

【オンラインセミナー】

～多数の動画を交えて解説する～

マイクロバブル・ナノバブルの基礎と応用及び生成装置の効果的な使い方

★ライブ配信のみ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210202.html>

■ 2月16日(火)-----

【オンラインセミナー】

～耐食性を中心とした～

ステンレス鋼の選び方・使い方とトラブル対策

– 受講者の事前ご質問・ご要望に可能な限り対応、個別相談付 –

★ライブ配信のみ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210203.html>

■ 2月17日(水)-----

– 水処理・汚泥処理の効率化・低コスト化・省エネを考慮した –
凝集剤の特性と効果的選定・活用法

～「ジャーテスターによる」実演を交えて解説する～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210213.html>

■ 2月17日(水)-----

CO2有効利用技術と開発・事業動向

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210214.html>

■ 2月18日(木)-----

【オンラインセミナー】

カーボンプライシングの最新動向と企業での実践及び

CDPの質問書・情報開示への対応と再エネ調達方法

★個別（各テーマ）受講可能★

★ライブ配信のみ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210216.html>

■2月18日(木)-----

【オンラインセミナー】

新たな水処理膜の研究／技術開発と適用展望

★ライブ配信のみ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210219.html>

■2月19日(金)-----

プラントモジュール工法と輸送の留意点

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210206.html>

■2月19日(金)-----

廃プラスチックのケミカルリサイクルと

サーマルリサイクルに関する技術開発・事業動向

～水素／アンモニア製造利用・油化・発電・燃料化など～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210215.html>

■2月24日(水)-----

－再生可能エネルギー普及、電力システム改革、低炭素化省エネ時代における－
分散型ビル空調の新しいエネルギー制御技術

～空調電力と快適性の両立、IoT・クラウド・AI 最適制御、需給調整市場対応、
高速デマンドレスポンスなど最先端技術について解説～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210209.html>

■2月24日(水)-----

【オンラインセミナー】

～講師が執筆したこの内容の図書（2020年4月出版）などを基に解説する～

海外建設プロジェクトの工程遅延分析とクレーム

★ライブ配信のみ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210211.html>

■ 2月25日(木)-----

圧力容器の強度評価と設計技術・規格基準

～設計基準となる規格から強度評価・設計のポイントまで～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210212.html>

■ 2月25日(木)-----

LNG等船舶燃料に関する事業と各社の取組み動向

～商船三井、三菱造船、ウインターツールガスアンドディーゼル、
ヤンマーパワーテクノロジーの講師から詳説～

★個別（各テーマ）受講可能★

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210217.html>

■ 2月26日(金)-----

水銀及び水銀廃棄物の除去・処理技術

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210208.html>

■ 2月26日(金)-----

蓄熱技術（蓄熱材・システム）の開発と適用動向

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20210218.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いです。

■ 2021年2月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-02.html>

■ 2021年4月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ _____ ■
おすすめセミナーPick Up

■ _____ ■

今回のPick Upセミナーは

「CO2有効利用技術と開発・事業動向」

です。

本セミナーでは、二酸化炭素の各種有効利用に関する技術開発および事業の最新動向、今後の展望について、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。

- 講 師 東芝エネルギーシステムズ(株)
パワーシステム事業部 パワーシステム技術・開発部
CO2分離回収開発・拡販グループ マネジャー 岩浅清彦 氏
- 講 師 早稲田大学 理工学術院 教授 中垣隆雄 氏
- 講 師 Hitz日立造船(株)
機械事業本部 産業装置ビジネスユニット
地球環境ビジネス開発推進室長 泉屋宏一 氏
- 講 師 佐賀市役所 企画調整部 バイオマス産業推進課長 江島英文 氏
- 講 師 名古屋大学大学院工学研究科 助教 町田 洋 氏
- 日 時 2021年 2月 17日(水) 10:00~16:45

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信（Zoom）での受講も可能です。

・ライブ配信受講の方のテキスト資料はセミナー開催日の直前にお送り致します。

●受講料 49,940円（1名につき）

（同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円）

※テキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

10:00-11:00

1. CCUSを取り巻く環境と東芝の取組み

石炭火力発電所や様々な産業セクター等から排出されるCO₂削減方式としてのCCUS技術は地球温暖化防止の切り札と言われている。しかしながらこの有望な技術には克服しなければならない課題も多い。本講演ではCCUS技術の普及に必要な取り組みは何か、そして東芝の進めるCO₂回収技術開発と事業化開発を合わせて紹介する。

- 1) CCUS技術の必要性とその適用
- 2) CCUSの普及に必要なファクターとは？
- 3) 東芝のCO₂回収技術開発状況
：三川パイロットプラント
- 4) 東芝のCO₂回収事業開発状況
：Feasibility Study & 建設実績
- 5) 質疑応答・名刺交換

（岩浅 氏）

11:15-12:15

2. 新たな鉄鋼スラグ処理法によるCO₂有効利用

鉄鋼生産時に副生するスラグはほぼ全てが合理的に利用されており、これまでもCO₂排出削減に寄与してきた。本講演は、熔融状態のスラグを起点とした新たな処理法によってCO₂を固定化し、骨材等の利用によって従来よりもさらにCO₂削減可能な技術について紹介する。

- 1) カーボンリサイクルと無機固定の位置づけ

- 2) 無機固定のポテンシャル
- 3) スラグ利用の現状
- 4) 技術開発の視点
- 5) スラグの分離と炭酸塩化の技術
 - (1)従来技術と新技術
 - (2)遠心分離法と超徐冷法
 - (3)気固接触法
- 6) 質疑応答・名刺交換

(中垣 氏)

13:15-14:15

3. CO2を利用した再生可能エネルギーの燃料化技術 ～炭素循環社会を目指して～

脱炭素化社会実現のために、25年前からCO2を再エネ水素を用いてカーボンニュートラルなメタンを合成し、循環利用するための研究開発を行ってきた。近年、CO2の循環利用において重要な技術として評価を受けるようになり、欧州でPtSNGという技術分野を生み出すまでに成長してきた。日本国内でも2050年CO2排出実質ゼロを目指し、カーボンリサイクルならびにCCU実現へ取り組みが一層加速している。これまでから現在に至るまでの技術開発の取組みを紹介する。

- 1) Power to Gas (再生可能エネルギーから燃料ガスを作ること) と最近の動向
- 2) グローバルCO2リサイクル
- 3) 再エネからの水素変換技術
- 4) 再エネ水素を用いたCO2のメタン変換
- 5) 今後の展開
- 6) 質疑応答・名刺交換

(泉屋 氏)

14:30-15:30

4. Co-Creation Circular economy (共創する資源循環社会)

佐賀市では、バイオマス資源の域内有効活用やカーボンリサイクルなどをキーとして、無理のない自然体で取組むことのできる資源循環経済を国内外のステークホルダーと共創しております。

- 1) バイオマス産業都市さが

- 2) 清掃工場カーボンリサイクル事業
- 3) 下水浄化センターの資源循環
- 4) 藻類産業創出
- 5) カーボンリサイクルの新たな役割
- 6) 全ての人に共感される事業を目指して
- 7) 質疑応答・名刺交換

(江島 氏)

15:45-16:45

5. 水素を用いた省エネルギーCO2回収と有効利用技術開発

CO2分離回収プロセスとCO2還元プロセスと統合することで、CO2分離回収に必要なエネルギーの削減を可能とする“H2ストリッピング再生プロセス”を開発した。これまでの吸収液開発、プロセス開発に関して紹介する。

- 1) CCUS技術に関して
- 2) 吸収液の開発
- 3) プロセスの開発
- 4) エネルギー評価
- 5) 今後の展開
- 6) 質疑応答・名刺交換

(町田 氏)

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20210214.html>



主催セミナー アーカイブ一覧

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

第1位 「紫外線／光触媒によるウイルス不活化技術と対策」
(2020年12月9日(水)開催)
<https://www.tic-co.com/seminar/20201218.html> アクセス数
2822件

第2位 「洋上風力発電の開発と事業展開の動向」
(2020年12月24日(木)開催)
<https://www.tic-co.com/seminar/20201214.html> アクセス数
2709件

第3位 「灰【石炭灰, バイオマス灰, 焼却灰(ゴミ・汚泥)】の
有効利用への取組み(事業ならびに技術／研究開発動向)」
(2020年12月8日(火)・16日(水)開催)
<https://www.tic-co.com/seminar/20201213.html> アクセス数
1627件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202101S.html>

今回は第3位に
「灰【石炭灰, バイオマス灰, 焼却灰(ゴミ・汚泥)】の
有効利用への取組み(事業ならびに技術／研究開発動向)」がランクイン。

灰(焼却灰、石炭灰、バイオマス灰)の有効利用への取組みと技術・研究開発動向について、

斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしょうか。

関連セミナーとして

2021年2月10日(水)に

「バイオマスガス化発電・CHPシステムなどの開発動向・比較・導入の実際と
2000kW未満のバイオマス発電における事業化・事例(成功・失敗分析)」
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20210210.html>

ならびに、

2021年2月19日(金)に

「廃プラスチックのケミカルリサイクルと
サーマルリサイクルに関する技術開発・事業動向」
～水素／アンモニア製造利用・油化・発電・燃料化など～
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20210215.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆
：：：：：：：：：：：：：

第1位 『プラント配管工事工数の合理的な見積法』
<https://www.tic-co.com/books/20190781.html> アクセス数
380件

第2位 『車載機器の接続信頼性と向上技術』
<https://www.tic-co.com/books/20sta138.html> アクセス数
341件

第3位 『マイクロ・ナノバブル応用商品実用化動向/用途別潜在ニーズ/研究開発動向
実態調査』
<https://www.tic-co.com/books/2004tv03.htm> アクセス数
203件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202101B.html>

今回は第3位に

「マイクロ・ナノバブル応用商品実用化動向/用途別潜在ニーズ/研究開発動向実態調査
－マイクロ・ナノバブルの物理化学特性を利用した応用商品の実用化動向、
用途別潜在ニーズ及び公的研究機関・大学の研究開発動向の実態を明らかにする－」
がランクイン。

2004年10月発刊ですが、コロナ対策への応用として、再度関心を集めてのランクインで
しょう。

関連セミナーとして

2021年2月15日(月)・16日(火)に

【オンラインセミナー】

～多数の動画を交えて解説する～

「マイクロバブル・ナノバブルの基礎と応用及び生成装置の効果的な使い方」
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20210202.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■

E-mail変更・不要について

■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」
とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」
とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ ————— ■ □

季語に遊ぶ

□ ■ ————— ■ □

「歌川広重『東海道五拾三次』保永堂版と俳句

–其ノ参 藤枝（静岡県）から白須賀（静岡県湖西市）まで」

歌川広重『東海道五拾三次』の三回目です。

今回は藤枝から白須賀までを紹介します。

川越しの場面が多く登場します。

江戸時代は江戸防衛という軍事的な理由と、夏季の増水期に耐えうる強固な橋脚建造技術がなかったことと財政的な要因から、基本的に大河川は架橋されませんでした。

そのため、川越しの際は渡舟に頼るか、比較的浅い河川では徒歩（かち）渡りを強いられるという難儀な旅でした。

五拾三次中、舟を用いた河川は六郷川、馬入川、富士川、天竜川、横田川です。ただし六郷川は当初は架橋されていました。

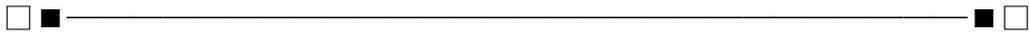
徒歩渡りは酒匂川、興津川、安倍川、瀬戸川、大井川、草津川。

また、海を越える場所は二カ所あり、「今切れの渡し」は「舞坂」から「荒井」までの一里半で「一里の渡し」とも呼ばれ、もう一つは宮（熱田）から桑名までの「宮の渡し」で海上七里におよぶ船旅で、順風でも七時間を要し「七里の渡し」とも呼ばれました。

そんな困難な旅路でもそれを上まわる意欲と楽しみがあったことを感じながら、「藤枝」から「白須賀」までの旅をご覧ください。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202101.pdf>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[T E L] 06-6358-0141

[F A X] 06-6358-0134

[U R L] <https://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com